

核医学検査（副腎髓質 MIBG シンチ）の説明書

様の検査は2日間行います。

- ▶1日目の検査日 年 月 日 時 分の予定です。
* 予定時間の20分前までに、県立二葉の里病院1番受付にお越しください。
- ▶2日目の検査日 年 月 日 (1日目の翌日)の予定です。
* 予定時間の20分前までに、県立二葉の里病院再来機受付にお越しください。
* 2日目の検査時間は、1回目の検査終了後お知らせします。

*核医学検査について

ガンマ線を放出する薬（放射性医薬品）を注射して、身体の中から放出されるガンマ線を専用のカメラを用いて撮影します。この薬は特定の臓器や病気に集まりやすく、検査内容により注射する薬の種類が異なります。狭心症などの心臓疾患、副甲状腺、骨転移などの腫瘍病変、認知症やパーキンソン病を始めとする神経疾患など、様々な『機能診断』に利用されています。

薬には放射性物質が含まれているため被ばくがありますが、放出される放射線は微量で、時間の経過とともに少なくなる性質があります。また、副作用の発生頻度は非常に低く安全です。薬は高価ですが、健康保険が適用されます。

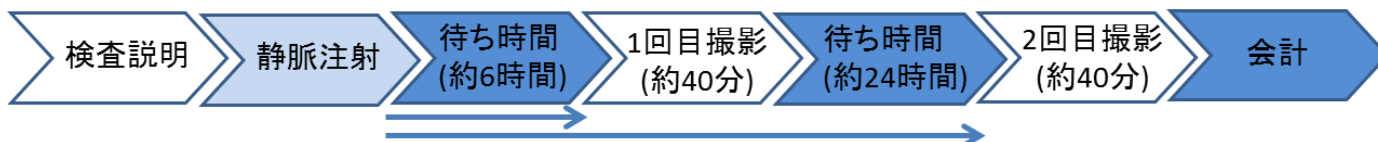
*注意事項

- ◇レセルピン、三環系抗うつ剤の薬は、検査結果に影響する恐れがあるため、必ず医師にご相談ください。
- ◇アレルギーをお持ちの方、妊娠の可能性のある方や妊婦の方、授乳中の方は、必ず医師に相談してください。
- ◇検査後、近日中に飛行機に搭乗される予定がある方は、放射線セキュリティーアラームにより検出される場合があるため、事前にスタッフまでお知らせください。

副腎髓質 MIBG シンチ検査について

- この検査は、副腎髓質に集まる薬を静脈注射し、その分布を調べます。
- 撮影は、注射6時間後と24時間後の2日間行います。
- 主な対象疾患は、褐色細胞腫、神経芽腫です。その他心臓、脳の変性疾患にも使用されます。
- 待ち時間の間は、食事等の制限はありません。ご自由にお過ごしください。

*副腎髓質 MIBG シンチ検査の流れ



* ご不明な点や検査を受けられなくなった場合などは、紹介施設または下記までご連絡下さい。

県立二葉の里病院 地域連携室：(082)-262-1581 または放射線科：(082)-262-1178
受付時間：平日 8:40～17:00

コピーしてご利用ください。ホームページからダウンロードもできます。